

「業種別職種別ユニオン運動」研究会主催

生コン関連業種別ユニオン 連続講座

大企業との対等取引を進め！
賃金・運賃大幅引上げを要求！
自動車パレード
交運労協・生コン産業政策協議会

会費：会員無料／非会員・500円

第1回

「関西生コン支部の歴史と現状」

8/25 (土)

13:00～17:00

I部 関西生コン支部の歴史

II部 現状と課題

報告者 武建一 (全日本建設運輸連帯労働組合関西生コン支部委員長)

討論者 木下武男 (元昭和女子大学教授)

会場：連合会館 203 会議室 (東京都千代田区神田駿河台 3-2-11)

東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」B3 出口 (徒歩0分) / JR 中央線・総武線「御茶ノ水駅」聖橋口 (徒歩5分)

第2回

「生コン関連業種別ユニオンの発展」

9/29 (土)

13:00～17:00

会場：未定

I部 全日建連帯労組 近畿セメント支部

報告者 西山直洋 (近畿地本書記長)

II部 近畿コンクリート圧送労働組合

報告者 桑田秀義 (近畿コンクリート圧送労働組合執行委員長)

第3回

「生コン関連事業協同組合の歴史と現状」

10/27 (土)

13:00～17:00

会場：未定

I部 事業協同組合と労働組合運動

報告者 折衝中

II部 事業協同組合と経営活動

報告者 久貝博司 (株京都生コン代表取締役)

小田要 (元大阪兵庫生コン経営者会会長)

「生コン関連業種別ユニオン」研究講座のご案内

「業種別職種別ユニオン運動」研究会

運営委員長 木下武男（元昭和女子大学教授）

事務局長 武藤弘道（前都労連委員長）

私たちは業種別の視点に立って、労働組合運動を研究している団体です。このたび以下のような連続講座を企画致しましたので、ご案内申し上げます。

全日建連帯関西生コン支部は、業種別ユニオンの典型的な活動を、長年にわたって行ってきました。業界団体を相手に集団交渉をおこない、企業を超えて労働条件を決定する運動のやり方は「関生方式」とも呼ばれてきました。その経験は若者のユニオンなどで生かされていますが、まだ広く知られるところとはなっていません。

そこで研究会は、この関西生コン支部の運動を歴史的、総合的に検討するために、3回の講座を開くことに致しました。

連続講座のテーマと日程

第1回：「関西生コン支部の歴史と現状」8月25日（土）

前後半・報告者：武建一（全日建連帯労組 関西生コン支部委員長）

第2回：「生コン関連業種別ユニオンの発展」9月29日（土）

Ⅰ部：西山直洋（全日建連帯労組 近畿セメント支部 近畿地本書記長）

Ⅱ部：桑田秀義（近畿コンクリート圧送労働組合執行委員長）

第3回：「生コン関連事業協同組合の歴史と現状」10月27日（土）

Ⅰ部：「事業協同組合と労働組合運動」（報告者、未定）

Ⅱ部：「事業協同組合と経営活動」

・久貝博司（株京都生コン代表取締役）

・小田要（元大阪兵庫生コン経営者会会長）

連続講座の会場と時間、会費

・会場：第1回 連合会館203会議室 第2回以降未定 / 時間：午後1時～5時

・会費：会員無料、非会員・500円

〈第1回〉武委員長から産業別統一闘争の歴史と、到達した運動と組織について報告していただきます。報告とその後の質疑討論を含め半日かけて「関生方式」を深めたいと思っています。

〈第2回〉生コン支部の経験は、生コン運輸労働者のみならず、バラセメント労働者、そして圧送労働者へと広がっています。これらの労働者が結束して2010年に長期ストライキを打ち抜きました。業種別ユニオンの広がりから学ぶことは多いと思います。

〈第3回〉生コン業界は、大手セメントメーカーとゼネコンの間にあり、中小企業の経営者は圧迫されてきました。経営者が事業協同組合をつくり、労働組合と連携して業界の安定をはかる経験は貴重です。背景資本との闘いの一例として参考になると思われます。

今日の労働運動を発展させるためにも貴重な機会だと思われます。多くの皆さまが参加されますようお願い申し上げます。研究会HPでご案内致しております。

研究会HP：www.gyousyubetu-syokusyubetu-union.com/